

2025年11月海洋観測結果について

10月30日及び11月4日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」で海洋観測を以下の表1と図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>）に掲載し、沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

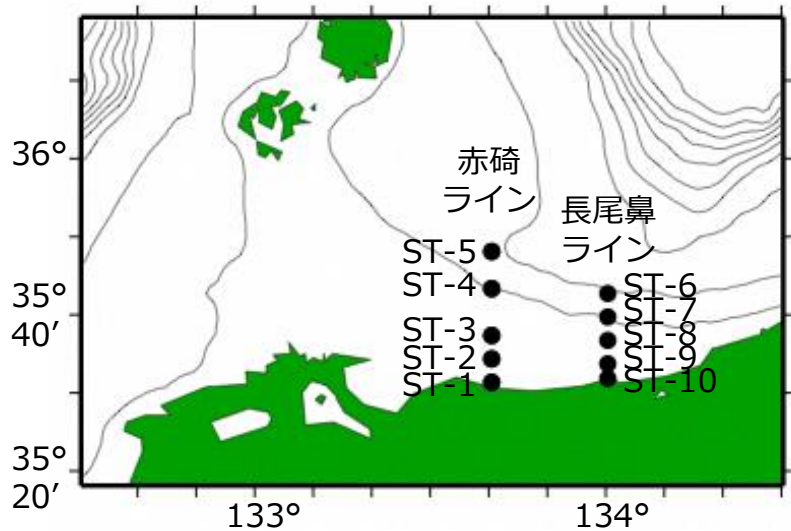


図1 観測定点

【鉛直分布図】

表面水温は、赤碕ライン、長尾鼻ラインともに20～21℃台、前月より5℃ほど降温していました。

表面から水深50m付近までは20℃台となっていました。

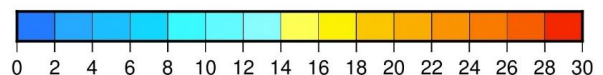
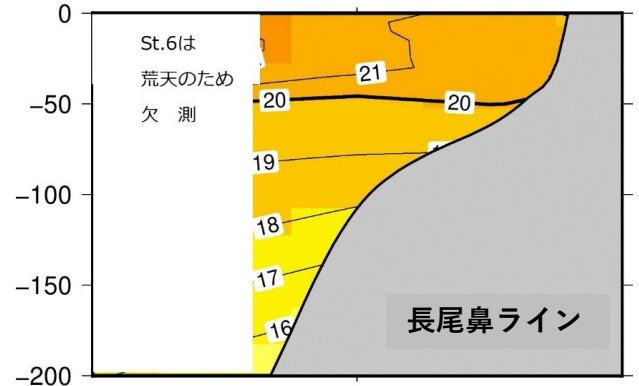
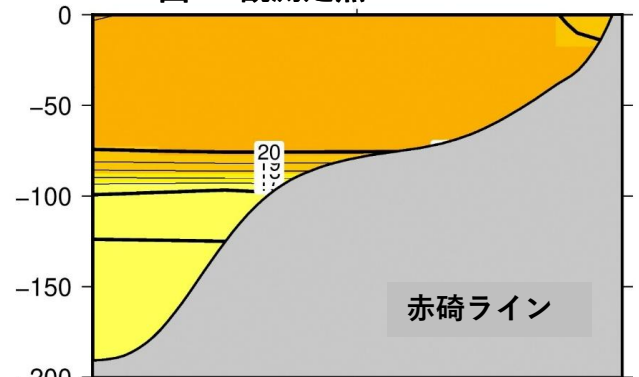


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

水深0mでは、赤碕、長尾鼻ともに平年より0.2～0.4℃低くなっていました。水深30mでは、赤碕、長尾鼻ともに平年より0.2～0.7℃引くとなっており、水深50mでは、赤碕は平年より0.2℃低く、長尾鼻は平年より1.1℃低くなっていました(表2)。

気温の低下や秋雨前線の影響により、表面水温は平年並みに落ち着いてきました。冬季季節風の吹込みにより表層水が混合したため、水深50m付近までは20℃台となっています。
ようやく海の様子も夏から秋へと変わってきました。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2025年	20.4	20.8	20.8	17.3	20.8	21.1	19.8	18.1
前年	20.7	21.5	21.0	18.3	20.9	21.6	20.6	17.1
2011-24年平均	20.9	21.4	21.0	18.4	21.1	21.3	21.0	17.8
平年差	-0.4	-0.7	-0.2	-1.1	-0.2	-0.2	-1.1	0.3